

様式 11-1

事業報告書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人 社団 六心会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

- (2) 事務所の所在地 兵庫県神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ 1788 番地
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

- (3) 設立認可年月日 昭和63年 8月 3日

- (4) 設立登記年月日 昭和63年 8月 3日

- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	古瀬 繁	恒生病院 (勤務医)
理 事	野田 眞也	伊丹恒生脳神経外科病院 管理者 (院長)
同	古瀬 明子	介護老人保健施設 エスペランサ 管理者 (施設長)
同	野田 美恵子	伊丹恒生脳神経外科病院 看護師
同	頃末 和良	恒生かのこ病院 管理者 (院長)
同	田村 昌吾	恒生病院 管理者 (院長)
同		
監 事	阿部 祐介	司法書士
同		
評 議 員		
同		
同		

- 注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	恒生病院	神戸市北区道場町日下部 字中ノゴウ 1788 番地	一般病床 59 床 回復期病床 50 床
病院	伊丹恒生 脳神経外科病院	伊丹市西野 1 丁目 300 番地 1	一般病床 40 床 回復期病床 40 床
病院	恒生かのこ病院	神戸市北区鹿の子台北町 8 丁目 11 番 1 号	地域包括ケア病床 55 床
介護老人 保健施設	エスペランサ	宝塚市山本丸橋 2 丁目 22 番 1 号	入所定員 140 名 通所定員 40 名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
 2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
 3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。
 4. 介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備考
訪問看護ステーション ルシエール	宝塚市山本丸橋 2 丁目 22 番地 1 号	
訪問看護ステーション ルシエール神戸	神戸市北区鹿の子台北町 8 丁目 11 番 1 号	
指定居宅介護支援事業所 ケアメイト	宝塚市山本丸橋 2 丁目 22 番地 1 号	
指定居宅介護支援事業所 ケアメイト神戸	神戸市北区鹿の子台北町 8 丁目 11 番 1 号	
認知症対応型共同生活介護 こころ	神戸市北区道場町日下部 1853 番地	
小規模多機能型居宅介護 こころ	神戸市北区道場町日下部 1853 番地	
訪問介護ステーション クオーレ神戸	神戸市北区道場町日下部 1788 番地	
サービス付き高齢者向け住宅 かのこヒルズ	神戸市北区鹿の子台北町 8 丁目 11 番 1 号	
道場あんしんすこやかセンター 【神戸市から委託を受けて行う事業】	神戸市北区鹿の子台北町 8 丁目 11 番 1 号	

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 4年 5月26日	会議名 社員総会	議決又は同意事項 昨年度決算の承認・議決
令和 5年 2月22日	社員総会	次年度予算案の承認・議決

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

（施設名・事業所名）

【

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

（指定内容）

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

法人名 医療法人社団 六心会
所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

医療法人番号 28110

財 産 目 録
(令和5年3月31日現在)

1. 資 産 額	7,865,572 千円
2. 負 債 額	6,888,148 千円
3. 純 資 産 額	977,425 千円

(内 訳)	区 分	(単位：千円) 金 額
A	流 動 資 産	1,993,095
B	固 定 資 産	5,872,477
C	資 産 合 計 (A + B)	7,865,572
D	負 債 合 計	6,888,148
E	純 資 産 (C - D)	977,425

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。			
土	地	(<input type="checkbox"/> 法人所有 <input type="checkbox"/> 賃借 <input checked="" type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))	
建	物	(<input checked="" type="checkbox"/> 法人所有 <input type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有(部分的に賃借))	

法人名 医療法人社団 六心会

医療法人番号

28110

所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	1,993,095	I 流 動 負 債	1,601,552
現金及び預金	880,143	買掛金	122,537
事業未収金	953,211	短期借入金	615,000
有価証券	7,341	1年以内返済長期借入金	504,489
たな卸資産	37,003	未払金	111,668
前渡金		未払費用	49,738
前払費用	3,238	未払法人税等	30,058
繰延税金資産		未払消費税等	1,900
その他の流動資産	112,159	繰延税金負債	
II 固 定 資 産	5,872,477	前受金	
1 有 形 固 定 資 産	5,374,281	預り金	25,225
建物	4,529,318	前受収益	
構築物	86,438	賞与引当金	129,398
医療用器械備品	223,946	その他の流動負債	11,538
その他の器械備品	59,453	II 固 定 負 債	5,286,596
車両及び船舶	0	医療機関債	
土地	278,657	長期借入金	5,067,745
建設仮勘定		繰延税金負債	
その他の有形固定資産	196,468	その他の固定負債	218,850
2 無 形 固 定 資 産	79,139	負債合計	6,888,148
借地権	30,118	純資産の部	
ソフトウェア	47,884	科 目	金 額
その他の無形固定資産	1,137	I 基 金	
3 その他の資産	419,057	II 積 立 金	977,425
有価証券		代替基金	
長期貸付金	190,177	設立等積立金	260,965
保有医療機関債		繰越利益積立金	716,459
その他長期貸付金	190,177	III 評価・換算差額等	
役員等長期貸付金	13,188	その他有価証券評価差額金	
長期前払費用	12,335	繰延ヘッジ損益	
繰延税金資産		純資産合計	977,425
その他の固定資産	203,358	負債・純資産合計	7,865,572
資産合計	7,865,572		

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

法人名 医療法人社団 六心会

医療法人番号 28110

所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

損 益 計 算 書

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		5,952,526
2 事業費用		
(1)事業費	5,669,846	
(2)本部費	15,173	5,685,019
本来業務事業利益		267,507
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		612,775
2 事業費用		661,988
附帯業務事業損失		49,213
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
収益業務事業利益		0
事業利益		218,294
II 事業外収益		
受取利息	1,206	
その他の事業外収益	37,050	38,256
III 事業外費用		
支払利息	67,859	
その他の事業外費用	5,296	73,155
経常利益		183,395
IV 特別利益		
固定資産売却益		
その他の特別利益	2,760	2,760
V 特別損失		
固定資産売却損		
その他の特別損失	0	0
税引前当期純利益		186,155
法人税・住民税及び事業税	48,931	
法人税等調整額		48,931
当期純利益		137,224

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

法人名 医療法人社団 六心会
所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

医療法人番号 2-2-110

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注)

- 1 関係事業者ごとに記載すること。
- 2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。
近親者である場合には続柄を記載する。
- 3 次に定める取引については上記の注記を要しない。
イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。
ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
4 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団六心会
理事長 古瀬 繁 様

私は、医療法人社団六心会の令和4会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

令和4年5月26日
医療法人社団六心会
監事 阿部祐介

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項

該当なし

2 重要な会計方針に係る事項の注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

ア 時価のあるもの

決算期末日の市場価格に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)

イ 時価のないもの

移動平均法による原価法

② たな卸資産

最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっております。但し、平成 10 年4月以降に取得した建物(建物付属設備を除く)については、定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物 8 年～39 年

構築物 2 年～55 年

医療用器械備品 3 年～ 8 年

その他の器械備品 4 年～15 年

車両運搬具 4 年～ 6 年

② 無形固定資産

定額法によっております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、ソフトウェア(法人内使用分)については、法人内における利用可能期間(5 年)に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

(5) その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

①補助金等の会計処理方法

運営費補助金については、事業収益に計上しております。

また、固定資産を購入する目的で受け取った補助金等については、受け取った会計年度に一括して事業収益として計上しております。

(6) 会計方針の変更に関する注記

該当なし

3 貸借対照表等に関する注記

(1) 担保に供されている資産に関する事項

(担保に供している資産)

土地	277,677 千円
建物	3,500,560 千円
合計	3,778,237 千円

(担保に係る債務)

短期借入金	615,000 千円
長期借入金(一年内返済予定を含む)	5,572,234 千円
合計	6,187,234 千円

(2) 医療法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

該当なし

(3) 重要な偶発債務に関する事項

該当なし

(4) 重要な後発事象に関する事項

該当なし

(5) その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

①有形固定資産の減価償却累計額 5,695,335 千円

②補助金等の内訳

補助金の内容	交付者	交付金額 (千円)	損益計算書 計上科目
新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業	兵庫県	327,097	事業収益
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	36,000	事業収益
新型コロナウイルスワクチン個別接種促進支援事業	兵庫県	10,499	事業収益
新型コロナ感染症に係る介護事業所等に対するサービス継続支援事業	神戸市	10,937	事業収益
その他	兵庫県等	42,835	事業利益
		4,465	特別利益
合計		431,834	

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人社団 六心会
所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

医療法人番号 28112

純資産変動計算書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

(単位: 千円)

	基金 (又は出資金)	積立金			評価・換算差額等			純資産合計
		代替基金	設立等積立金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券評価差額金	繰越ヘッジ損益	評価・換算差額等合計
令和4年3月31日 残高			260,965	579,235	840,200			840,200
会計年度中の変動額								
当期純利益				137,224	137,224			137,224
その他の会計年度の変動額								
.....								
会計年度中の変動額合計			0	137,224	137,224			137,224
令和5年3月31日 残高			260,965	716,459	977,424			977,424

- 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
- 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載することができる。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
- 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。

様式第五号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人社団 六心会

所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

医療法人番号

28110

有形固定資産等明細表

資産の種類	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価 却累計額又は 償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差 引 当期末残高 (千円)
有形固定資産							
建物	-	-	-	7,991,902	3,462,584	308,560	4,529,318
構築物	-	-	-	163,674	77,236	7,866	86,438
医療用器械備品	-	-	-	812,386	588,440	100,755	223,946
その他の器械備品	-	-	-	350,133	290,680	26,963	59,453
車両及び船舶	-	-	-	5,156	5,156	75	0
土地	-	-	-	278,657	-	-	278,657
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-
その他の有形固定資産	-	-	-	1,467,708	1,271,239	87,143	196,468
計	-	-	-	11,069,616	5,695,335	531,361	5,374,281
無形固定資産							
借地権	-	-	-	30,118	-	-	30,118
ソフトウエア	-	-	-	125,241	77,357	23,733	47,884
その他の無形固定資産	-	-	-	1,137	-	-	1,137
計	-	-	-	156,496	77,357	23,733	79,139
その他	194,907	-	4,730	190,177	-	-	190,177
長期貸付金	13,209	449	1,323	12,335	-	-	12,335
長期前払費用	216,555	3,343	3,352	216,546	-	-	216,546
その他の固定資産	424,671	3,792	9,406	419,057	-	-	419,057
計							

(注)

- 1 有形固定資産及び無形固定資産の当該会計年度におけるそれぞれの増加額及び減少額がいずれも当該会計年度末における有形固定資産又は無形固定資産の総額の5%以下であるため、有形固定資産又は無形固定資産に係る記載中「当期増加額」及び「当期減少額」の欄の記載を省略している。

様式第六号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人社団 六心会
所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

医療法人番号 28110

引当金明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
賞与引当金	124,627	129,397	124,627	—	129,397

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

様式第七号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人社団 六心会

医療法人番号

2871010X

所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

借入金等明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期末残高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	630,000	615,000	0.6	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	484,299	504,489	1.3	—
長期借入金(1年以内に 返済予定のものを除く。)	5,488,905	5,067,745	1.1	令和6年4月～ 令和33年5月
その他の有利子負債	0	0		
合 計	6,603,203	6,187,235	—	—

1. 短期借入金、長期借入金（貸借対照表において流動負債として掲げられているものを含む。以下同じ。）及び金利の負担を伴うその他の負債（以下「その他の有利子負債」という。）について記載すること。
2. 重要な借入金で無利息又は特別の条件による利率が約定されているものがある場合には、その内容を欄外に記載すること。
3. 「その他の有利子負債」の欄は、その種類ごとにその内容を示したうえで記載すること。
4. 「平均利率」の欄には、加重平均利率を記載すること。
5. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く。）及びその他の有利子負債については、貸借対照表日後5年以内における1年ごとの返済予定額の総額を注記すること。

様式第八号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人社団 六心会
所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

医療法人番号 28110

有価証券明細表

【債権】

銘	柄	券面総額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
計			

【その他】

種類及び銘柄	口数等	貸借対照表価額 (千円)
(有価証券) 日本新興株オープン	6,495,063	7,340
計	—	7,340

1. 貸借対照表の流動資産及びその他の資産に計上されている有価証券について記載すること。
2. 流動資産に計上した有価証券とその他の資産に計上した有価証券を区分し、さらに満期保有目的の債券及びその他の有価証券に区分して記載すること。
3. 銘柄別による有価証券の貸借対照表価額が医療法人の純資産額の1%以下である場合には、当該有価証券に関する記載を省略することができる。
4. 「その他」の欄には有価証券の種類（金融商品取引法第2条第1項各号に掲げる種類をいう。）に区分して記載すること。

様式第九の一号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人社団 六心会

医療法人番号

28110

所在地 神戸市北区道場町日下部字中ノゴウ1788番地

事業費用明細表

(単位:千円)

区分	本来業務事業費用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合計
	事業費	本部費	計			
材料費	541,142	0	541,142	17,586	0	558,727
給与費	3,365,685	360	3,366,045	452,901	0	3,818,946
委託費	562,312	3,737	566,049	53,659	0	619,708
経費	1,200,707	11,076	1,211,783	137,842	0	1,349,625
売上原価	0	0	0	0	0	0
その他の事業費用	0	0	0	0	0	0
計	5,669,846	15,173	5,685,019	661,988	0	6,347,007

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. 中科目区分には、それぞれ細区分を設け、売上原価については、商品（又は製品）期首たな卸高、当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）、商品（又は製品）期末たな卸高を、材料費、給与費、委託費、経費及びその他の費用については、その内訳を示す費目を記載する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

独立監査人の監査報告書

2023 年 5 月 19 日

医療法人社団 六心会
理事会 御中竹田公認会計士事務所
大阪府大阪市

公認会計士

竹田 貴司

監査意見

私は、医療法第 51 条第 5 項の規定に基づき、医療法人社団六心会の 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの第 34 会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、すべての重要な点において厚生労働省令第 95 号（平成 28 年 4 月 20 日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統

制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上